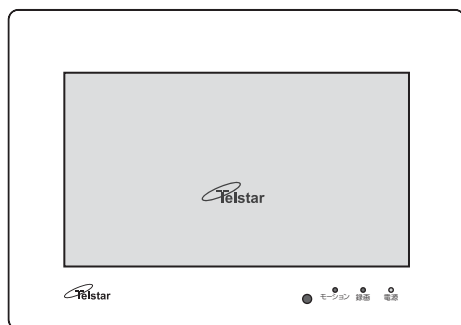
フォトフレーム型
SDカードレコーダー

DVF-7

取扱説明書（保証書付）

この度は「フォトフレーム型 SDカードレコーダー DVF-7」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。電源を入れる前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、末永くご愛用いただくために、この説明書は必ず大切に保管していただきますようお願いいたします。
保証書は「お買い上げ日·販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取り下さい。
本書ではSDカードとSDHCカードを「SDカード」と記載しています。

お使いになる前に

設定をする

録画と再生

必要に応じて

困ったとき

はじめに

めざしたのは「らしくない」こと

防犯機器というと、どうしても重々しいイメージがあります。そこで「防犯機器らしくない」をめざし、インテリアにもなじむフォトフレーム型のSDカードレコーダーを開発しました。

つなぐ ～設置も配線もシンプルに

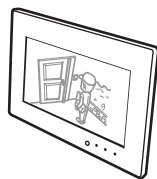
テルスターの防犯カメラを1台つなげれば、コンパクトな防犯システムができます。7インチモニターと防犯専用レコーダーが一体化し、これまでのような別売モニターまでの配線が不要になりました。配線は最小限で済み、わずらわしさが軽減されました。

つかう ～操作はリモコンで

付属リモコンで手元で手軽に操作できます。
※本体でも操作は可能です。

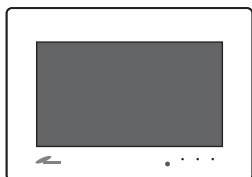
とる ～必要な時に必要な分だけ

動きがあるときだけ録画するモーション録画設定なら、待機中の動きの無い映像は録画しません。不要な録画を撮らないため、確認の手間が省け効率的です。時刻入り（タイムスタンプ※1）の録画映像は犯罪の「証拠」として警察に提出※2できます。いつ何が起きたかを記録し、犯人の特定や再発防止につなげます。

※1 録画画面に撮影時刻が刻印されます。改ざんができない仕組みのため、証拠として有効です。
※2 防犯専用でない一般的なレコーダーは時刻入りでの録画はできません。

みる ～その場でor後でじっくり

例えば来客のチェック。手が離せず対応できない時も「クイック再生」でその場で簡単に直前の様子を確認できます。また、映像と音声はSDカードに一般的な動画形式で記録されるので、お手持ちのパソコンのメディアプレーヤーで再生できます。後でまとまった期間をまとめてチェックしたり、バックアップもとれるので効率的です。

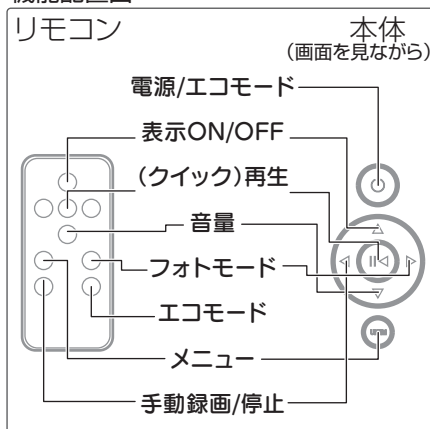
梱包内容の確認

本機をご使用いただく前に、すべての付属品が入っていることをご確認ください。不備な点がございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。

- □ レコーダー本体 ・・・・・・・・・・・・・・・・×1
- □ スタンド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・×1
- □ リモコン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・×1
- □ SDHCカード(4GB)・・・・・・・・・・×1
- □ 映像/音声ケーブル(入力用)1.5m ×1
- □ 映像/音声ケーブル(出力用)1.5m ×1
- □ ACアダプター ・・・・・・・・・・・・・・・・・×1
- □ 取扱説明書(保証書含む)・・・・・・・×1

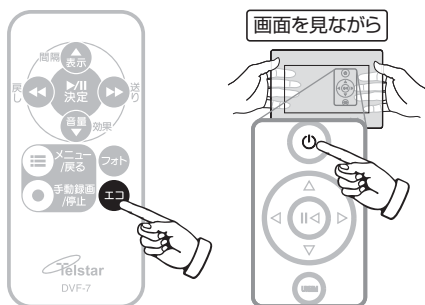
本書のみかた

この説明書ではリモコンでの操作を中心に説明しています。本体裏面の操作ボタンで操作する場合は各ページの「機能配置図」をご確認ください。

レコーダーモードでの「機能配置図」

機能配置図

本体の操作ボタンをつかう

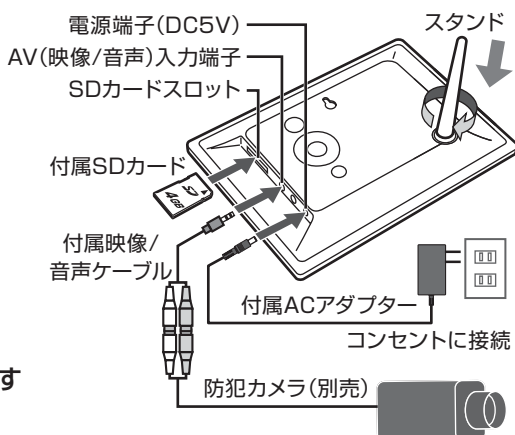
本体裏面のボタン操作は画面を見ながらおこないます。
両手で本体を持ち、右手の人差し指、中指、薬指の指先でボタンを探りながら操作します。

エコモードでの操作例

クイックスタートガイド

このガイドは、**「フォトフレーム型 SDカードレコーダー」**をご使用になるための簡単な操作について説明しています。各機能の詳しい内容については、各ページをご覧ください。

STEP 1

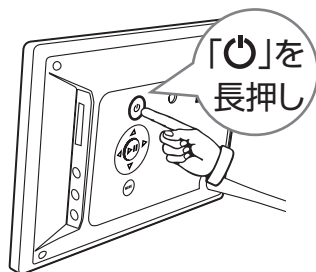
機器の準備(P10・11)

- □ リモコンを準備する
- □ スタンドをとりつける
- □ SDカードを入れる
- □ カメラを準備する
- □ 機器を接続する
- □ 本体正面の保護シートをはがす

STEP 2

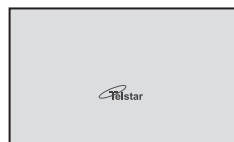
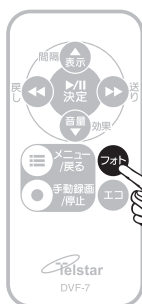
電源を入れる(P14・15)

- □ **本体の「電源」ボタンを3秒間長押し**
- → **電源表示LEDが緑色に点灯する**
- → **「オープニング画面」**が表示（既に写真データが入っている場合はスライドショー開始）

電源を切る

- □ **本体の電源ボタンを3秒間長押し**
- → 緑色の電源表示LEDが消灯

STEP 3

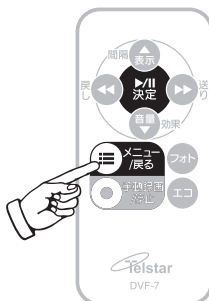
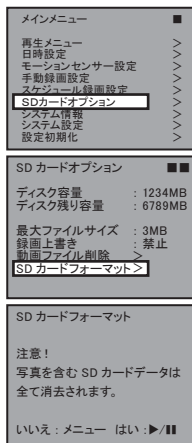
ライブ画面へ(P15・20)

- □ **「フォト」ボタンを押す**
- → **「オープニング(フォト)画面」**から**「ライブ(カメラの映像)画面」**へ

オープニング画面

ライブ画面

STEP4

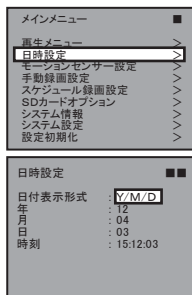
SDカードのフォーマット
(P37)

□「メニュー／戻る」ボタンを押す
→「ライブ(カメラの映像)画面」から
「メニュー画面(メインメニュー)」へ
→「SDカードオプション」を選択
→「SDカードフォーマット」で
「▶/❚❚／決定」ボタンを押す

ご注意
設定はライブ画面に
切り替えてから

STEP 5

日時の設定をする(P25)

□「メニュー／戻る」ボタンを押す
→「メニュー画面(メインメニュー)」から
→「日時設定」→「日付表示形式」…を設定

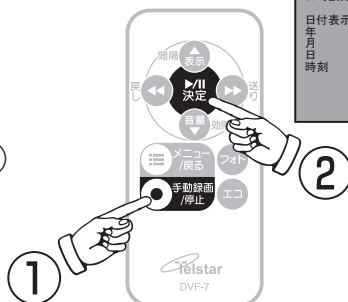
メインメニュー ■
再生メニュー >
日時設定 >
モーションセンサー設定 >
手動録画設定 >
スケジュール録画設定 >
SDカードオプション >
システム情報 >
システム設定 >
設定初期化 >

日時設定 ■■
日付表示形式 : Y/M/D
年 : 12
月 : 04
日 : 03
時刻 : 15:12:03

STEP 6

録画を開始する(P38)

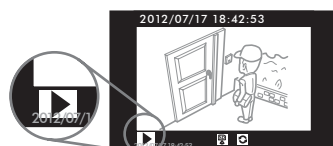
□ 録画ボタンを押す(手動録画)①

【手動録画の工場出荷時設定】
解像度（720×480）
フレームレート（10FPS）
画質設定（MQ 標準画質）
録画時間の目安 「手動録画」で約45時間
※付属4GB SDHCカード使用時

2012/07/17 18:42:53

ライブ(録画中)画面

STEP 7

撮った映像を見る(P42)

□「▶/❚❚／決定」ボタンを押す②
→「再生画面」が表示、最新の録画ファイルを
再生(クイック再生)
→「メニュー／戻る」ボタンで再生停止

再生画面

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について

警告	この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。		**してはいけない**内容です
	この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。		**実行しなければならない**内容です

警告

■ 水をかけたり、ぬらしたりしない
火災、感電、けがの原因になります。

■ 分解・改造・修理はしない
火災、感電の原因になります。

■ 異常な状態で使用しない
（発熱、発火、発煙、異臭、異音がするなど）火災、感電の原因になります。
すぐに電源プラグやACアダプターをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、AC100V以外での使用はしない
たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。

■ 電源プラグやACアダプター、コードなどに水をかけたりしない
感電の原因になります。
ぬれた場合は、すぐに電源プラグやACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

■ 電源プラグやACアダプター、コードなどを破損しない
（傷つける、加工する、無理やり曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を乗せる、加熱するなど）傷んだまま使用すると火災、感電、けがの原因になります。
電源プラグやACアダプター、コードなどの修理は販売店にご依頼ください。

■ 雷が鳴ったら本体や電源プラグ、ACアダプターに触れない
感電の原因になります。

■ 異物が入ったときは使用を中止する
そのまま使用すると火災、感電の原因になります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 落としたり、破損したときは使用を中止する
そのまま使用すると火災、感電の原因になります。
すぐに電源プラグやACアダプターをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

■ 電源プラグやACアダプターは根元まで確実に差し込む
差込が不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

■ 電源プラグやACアダプターのほこりは定期的にとる
プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災、感電の原因になります。
プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠ 注意

■ **不安定な場所や振動の多い場所には設置しない**
(ぐらつき、傾きのある場所)落下などにより破損やけがの原因となります。

■ **湿気の多い場所、結露が発生しやすい場所に設置しない**
(風呂場、台所や水まわり等)
結露しますと電子部品の誤作動、故障、劣化などの原因になります。温度差により結露(水滴)が発生しやすくなります。

■ **高温になる場所に設置しない**
(直射日光の当たる場所、車のトランク、ダッシュボードなど)機器の変形、電子部品の誤作動、故障、劣化などの原因になります。

■ **ヒーターなどの熱器具の近くに設置しない**
コードが溶けて火災、感電の原因になります。

■ **埃の多い場所に設置しない**
火災、感電の原因になります。

■ **機器に重いものを置いたり引っ掛けたりしない**
落下などにより破損やけがの原因となります。

■ **コードを引っ張らない**
電源プラグやACアダプターを抜くときはコードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災･感電の原因となります。

■ **機器の重量などを満たす強度で設置する**
落下などにより破損やけがの原因となります。

■ **取り付けや配線を行う場合は必ず電源を切る**
感電の原因となります。

使用上のお願い

ご利用の際、下記の影響を複合的に受けた場合、機器の仕様（耐久性）の限度を超える場合がございます。設置の際に配慮をお願いします。

・直射日光などによる影響
・夏の高温などによる影響
・降雨、強風、突風、台風などによる影響
・冬の低温、湿気、結露などによる凍結、積雪などによる影響
・塵、ホコリ、土、砂などによる影響
・海風などによる塩害の影響
・虫や動物、またそれらが出す有機物（糸、毛、抜け殻、糞、尿、体液、かじりかす、死骸その他）による影響
・熱源などによる影響
・特殊環境による液体や気体などによる影響
・その他機器に有害な影響を及ぼすもの

プライバシー、肖像権について

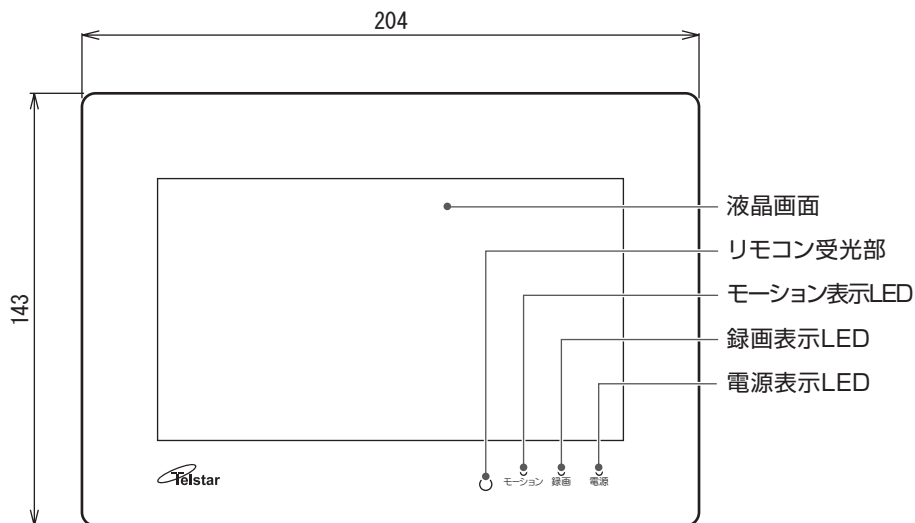
防犯機器の設置や利用は、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容貌、姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

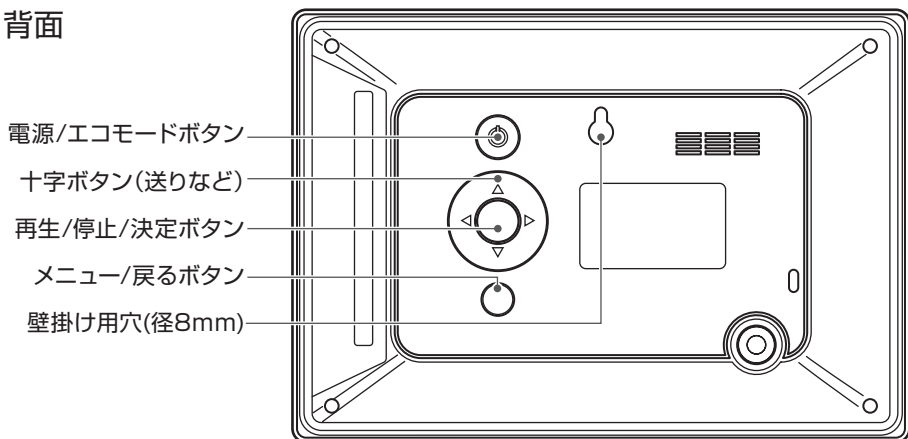
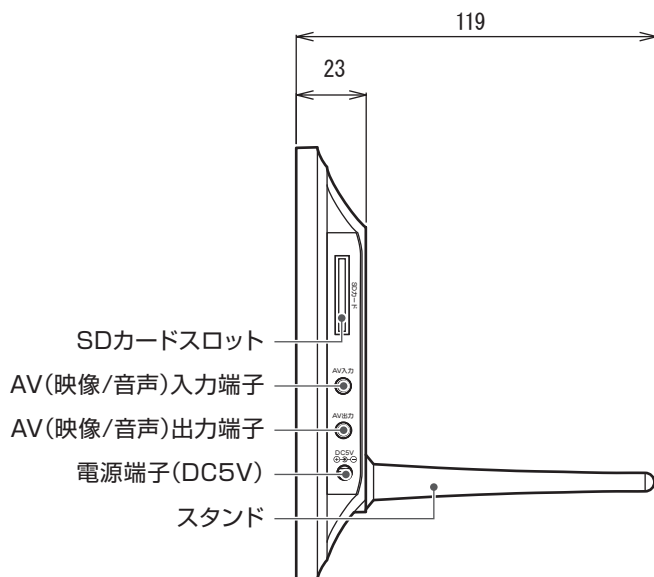
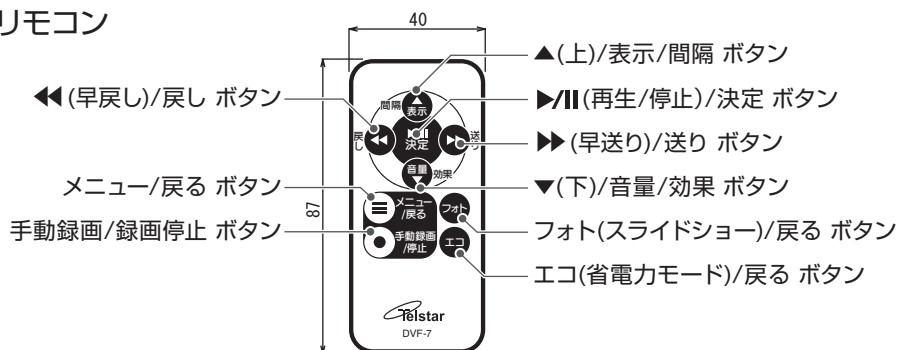
免責事項

■ 本製品は、盗難防止器具・災害防止器具ではありません。本製品の動作の正常・異常にかかわらず、犯罪・事故が発生した場合の損害については、当社は一切責任を負いません。
■ 製品の設置（取り付け・取り外しなど）により生じた建物等への損傷やその他の損害について、当社は一切責任を負いません。
■ 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
■ 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。

各部の名称

正面

LED表示について

電源表示LED(緑):電源ON時に点灯
録画表示LED(赤):録画中に点灯
:SDカードにアクセス中は点滅(エラーメッセージ表示中は点滅)
モーション表示LED(赤):一度検知された場合はゆっくり点滅
(検知してからボタン操作をするまで)
:検知中は速く点滅

背面

側面

リモコン

【おしらせ】

●ボタンの機能は「ライブ画面」、「フォトモード」などの各画面ごとに割り当てられています。詳しくは各モード、画面の項をご確認ください。

機器の準備

リモコンを準備する

ボタン電池(CR2025)が入っています。保護フィルムを引き抜いてからご使用ください。

リモコンを使用する

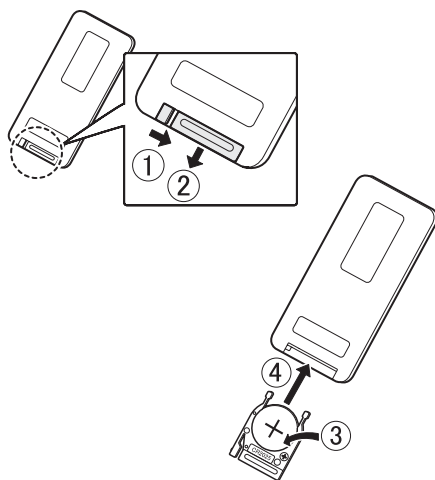
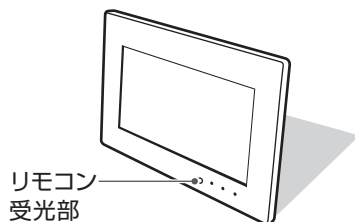
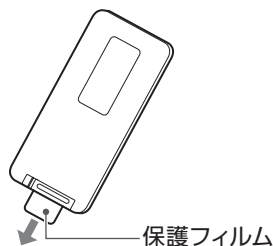
リモコンの先端をリモコン受光部に向けて操作してください。

※リモコンの先端やリモコン受光部をシールなどで隠さないでください。

リモコンの電池を交換する

ご購入時にリモコンに入っている電池はお試し用です。リモコンが動作しなくなったら、新しい電池(CR2025)と交換してください。

①つめを右によせる。
②電池ケースを引き出し、電池を取りはずす。
③新しい電池を+記号を上にして入れる。
④電池ケースをリモコンに、カチッと音がするまで押し込む。

電池交換後はリモコンが動作するかをご確認ください。

注意事項

■ 使い切った電池はすぐにリモコンから取り出す

そのまま放置すると液漏れや発熱、破裂などの原因になります。

■ リモコンを長期間使用しないときは、電池をリモコンから抜く

破裂や液漏れのおそれがあります。

■ 電池は誤った使い方をしない

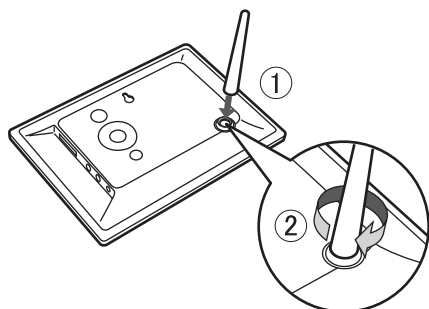
間違った入れ方をしたり、ショートさせたり、充電したり、分解、加熱、火中に投入したりすると、破裂や液漏れのおそれがあります。

スタンドをとりつける

本機はスタンドを取り付け卓上に横置きできます。

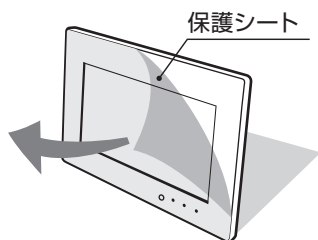
※縦置きには対応していません。

①本機の背面のネジ穴に対してまっすぐにスタンドを差し込む。

②スタンドが回らなくなるまでネジ穴にしっかりとねじ込む。

【おしらせ】

●壁掛けでもお楽しみいただけます。

保護シートをはがす

本体正面には輸送時などのキズ防止のため、保護シートを貼っています。映像が見づらくなる場合がありますので、保護シートをはがしてからご使用ください。

カメラ(別売)を接続する

別売の防犯カメラと接続します。マイク(音声)付きのカメラとの接続例です。カメラの接続方法についてはカメラの取扱説明書をご覧ください。

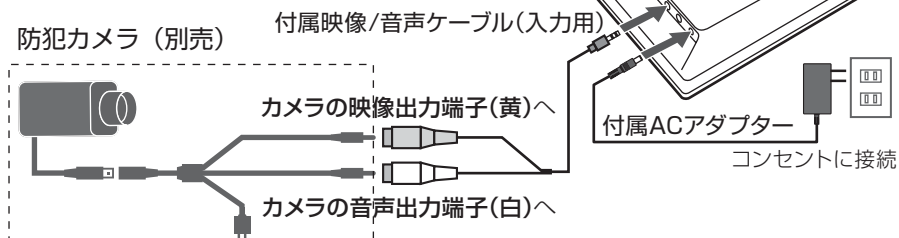
防犯カメラ（別売）

付属映像/音声ケーブル(入力用)

カメラの映像出力端子(黄)へ

カメラの音声出力端子(白)へ

付属ACアダプター

コンセントに接続

【おしらせ】

●マイク(音声)機能の無いカメラと接続する場合は音声入力端子(白)は使用しません。

AV(映像/音声)入力端子
→カメラへ

AV(映像/音声)出力端子
→モニターへ

電源端子(DC5V)
→ACアダプターを接続
→コンセントに接続

モニターに接続する

ご家庭のTVモニターなどで映像を観たい場合に接続します。AV出力端子とモニターの映像入力端子を付属の映像/音声ケーブル(出力用)で接続します。

【おしらせ】

●AV出力端子に付属の映像/音声ケーブル(出力用)を接続すると本体のモニターはオフになり、映像を観ることはできません。

防犯カメラ(別売)

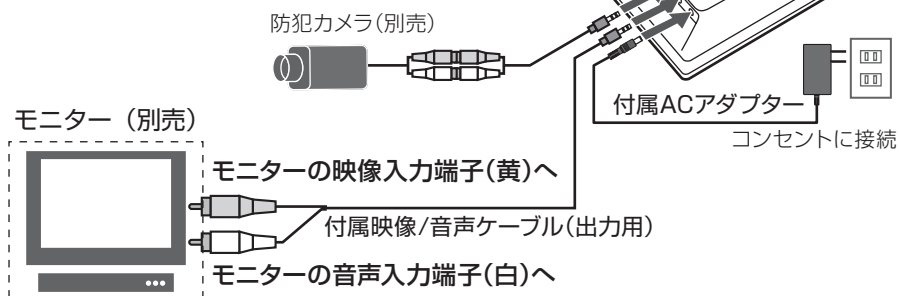
付属ACアダプター

コンセントに接続

モニター（別売）

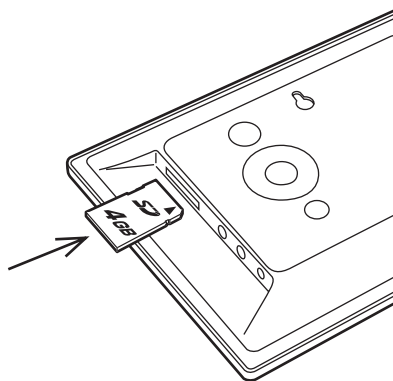
モニターの映像入力端子(黄)へ

付属映像/音声ケーブル(出力用)

モニターの音声入力端子(白)へ

SD カードを入れる

本体背面を上にした状態でSDカードの表面を上にしてSDカードスロットに「カチッ」と音がするまで押し込みます。

取り出す場合

SDカードを指先で押し込み、「カチッ」と音がしたら取り出せます。

【おしらせ】

- SDカードは、容量が1GB以上あり動作検証済みのものをご使用ください。容量が小さい場合、記録が不安定になる場合があります。
- SDカードを取り出す際には、電源を切ってから行ってください。適切な手順でない場合、記録データが損傷したり、本体が誤動作する場合があります。

SDカードのフォーマット

最初にSDカードを使う準備として、本機でフォーマットをしてください。

⇒「SDカードフォーマット」P37参照

本機はSDカードファイルの基本的な設定のみ対応しております。ファイルの損傷、部分的な修復などは出来ません。ご了承下さい。
ファイルに異常がある場合は、SDカードをフォーマットしてください。フォーマットによる損害について、弊社は保証いたしかねます。

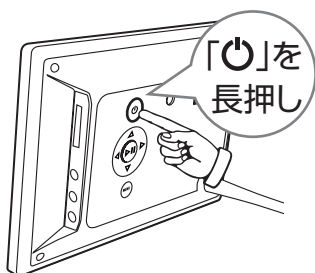
【おしらせ】

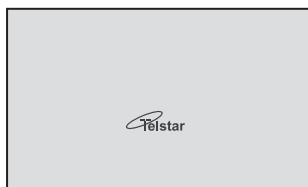
- プロテクトされたデータも含めて全てのデータは一度フォーマットをすると元に戻すことができません。よくお確かめの上フォーマットしてください。
- フォトモード(スライドショー)で使用するJPEGデータを削除したくない場合は動画のみ削除する「動画ファイル削除」をしてください。
⇒「動画ファイル削除」P37参照

電源を入れる／切る

電源を入れる

電源ボタン「⏻」を長押しする

本体の電源ボタン**「⏻」**を**「電源表示LED(緑)」**が点灯するまで長押し(約3秒間)します。SDカードが自動認識します(最初にSDカードを入れた時は空の「DVH264」フォルダーと「JPEG」フォルダーが自動的につくられます)。完全に起動するのに数秒かかります。

はじめて電源を入れた(写真データが入っていない)場合

「オープニング画面」が表示されます。

オープニング画面

既に写真データが入っている場合

自動的に**「フォトモード」**になり、スライドショーが始まります。

既に「スケジュール設定」が「ON」で録画をする設定になっている場合

自動的に録画モードに入ります(工場出荷時設定では未設定です)。

機能配置図

【おしらせ】

- 起動に時間がかかる場合があります。これはSDカード内の写真データの読み込みなどに時間がかかっているためで、故障ではありません。
- SDカードにアクセス中は録画ランプが点滅します。録画中は録画表示LEDが点灯します。

オープニング画面

エラーメッセージ

「SDカードが準備できていません」
SDカードが入っていない場合に表示されます。

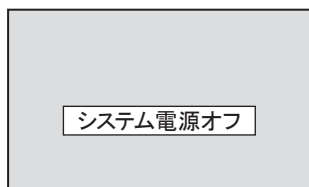
「SDカードが読み込めません」
SDカードがロックがかかっている場合などに表示されます。

「写真データが容量を越えています」
写真データの容量が7MB以上か、ファイル数が90個を越えている場合表示されます。

電源を切る

電源ボタン「⏻」を長押しする

本体の電源ボタン**「⏻」**を長押し(約3秒間)します。

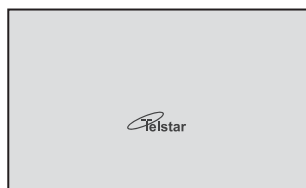
「システム電源オフ」と表示された後、画面と電源表示LEDが消灯し、電源が切れます。

【警告】

起動中にSDカードを抜かないで下さい。保存されたデータが破損する可能性があります。

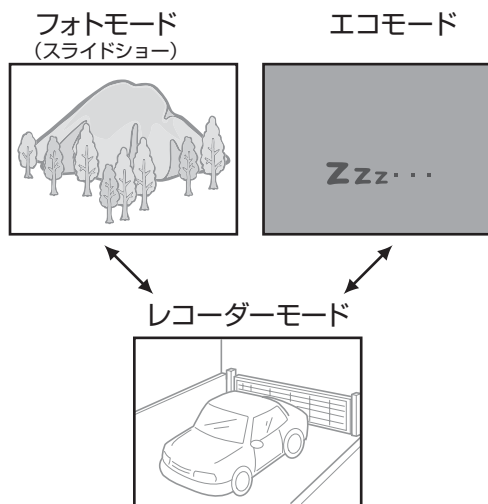
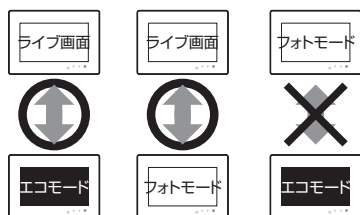
カメラの映像(ライブ画面)をみる

接続した防犯カメラ(別売)のカメラの映像(ライブ画面)の確認をします。

「フォト」ボタンを押す

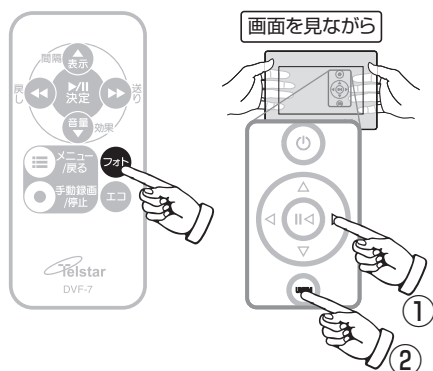
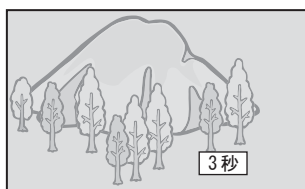
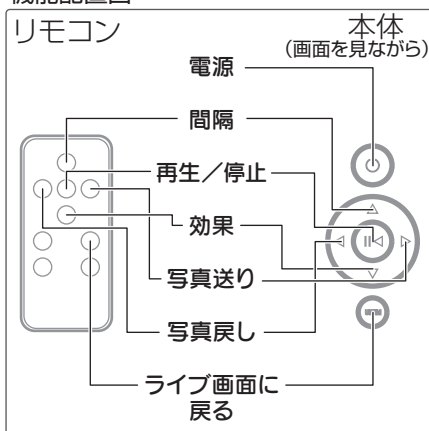
「オープニング(フォト)画面」から**「ライブ画面」**へ切り替わります。

オープニング(フォト)画面

ライブ画面

モードについて

本機には
「レコーダーモード」
「フォトモード（スライドショー）」
「エコモード」
の3つのモードがあります。
各画面は上図のような関係になっています。
「レコーダーモード」から**「フォトモード」**や**「エコモード」**に簡単に切り替えることができます。
※画面表示は説明のための画面例です。
　実際の表示とは異なります。

フォトモード（スライドショー）

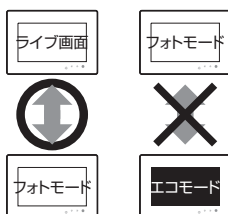
フォトモード

電源を入れるとフォトモードになります。起動時、写真データが入っていない場合はオープニング画面を表示します。写真データが入っている場合はスライドショーを開始します。ライブ画面（録画中を含む）よりフォトモードに入ります。フォトモードでは取り込んだJPEG画像をスライドショーで表示できます。
⇒「画像を取り込む」P18参照
スライドショーの表示間隔や効果を変更できます。

1. **「フォト」ボタンを押す①**
   フォトモードに切り替わります。画面表示が消えますが、電源表示LEDは点灯しています。録画中であれば録画表示LEDも点灯しています。
2. **「フォト」ボタンを押す②**
   ライブ画面に戻ります。

機能配置図

「間隔」ボタンを押して変更します。
3秒→7秒→15秒

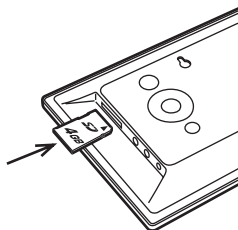
「効果」ボタンを押して変更します。
ノーマル→ワイプ→フェード

【おしらせ】

●エコモード、再生画面からはフォトモード（スライドショー）には入れません。

画像を取り込む

スライドショーで表示したい画像データを取り込みます。SDカードをパソコンなどに接続ます。

SDカード内の「JPEG」フォルダーにコピーしてください。再生できる画像ファイルはJPEGのみです。画像サイズは800×480程度が適しています。

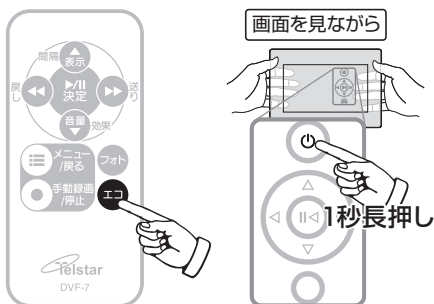
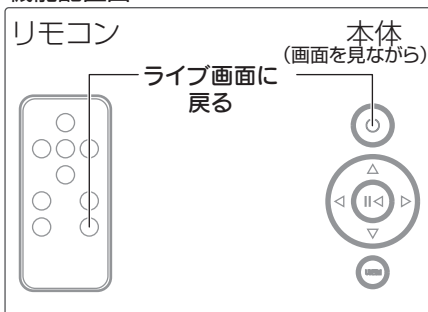
SDカードを本体に挿し、電源を入れると自動的に本体の内蔵メモリーに読み込まれます。

【おしらせ】

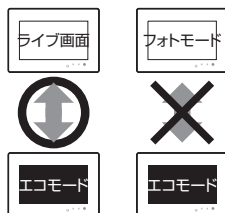
- 電源を切ると内蔵メモリーの画像データは消去されます。電源を入れるたびに読み込み作業をするため、読み込む画像データ容量が大きくなると読み込みに時間がかかり、起動時間も遅くなります。
- 表示可能な画像データのサイズは最大6000×5000、7MB程度までです。
- 表示される画像の順番はSDカードにコピーされた順で再生されます。
- 画像データのファイル名は日本語の表記が可能です。
- JPEG以外の画像ファイルは自動的に無視されます。

エコモード

エコモード

ライブ画面(録画中を含む)よりエコモードに入ります。エコモード中は消費電力を約60%低減できます。
本体とリモコンのどちらでも操作ができますが、**リモコンでの操作をおすすめ**します。

1. **「エコ」ボタンを押す**
   エコモードに切り替わります。画面表示が消えますが、電源表示LEDは点灯しています。録画中であれば録画表示LEDも点灯しています。
2. **「エコ」ボタンを押す**
   ライブ画面に戻ります。

機能配置図

【おしらせ】

- フォトモード(スライドショー)、再生画面からはエコモードには入れません。
- エコモード中は警告音、ライブ音声は出ません。
- エコモード中のLCD液晶パネルは非通電となり、画面上に一切の情報は表示されません。
- 本体でボタン操作する場合、電源ボタンがエコモードボタンを兼ねていますので、1秒長押しでエコモードに切り替わりますが、3秒以上長押しすると電源が切れます。操作がうまくいかない場合は**リモコンでの操作をおすすめ**します。

レコーダーモード

レコーダーモード

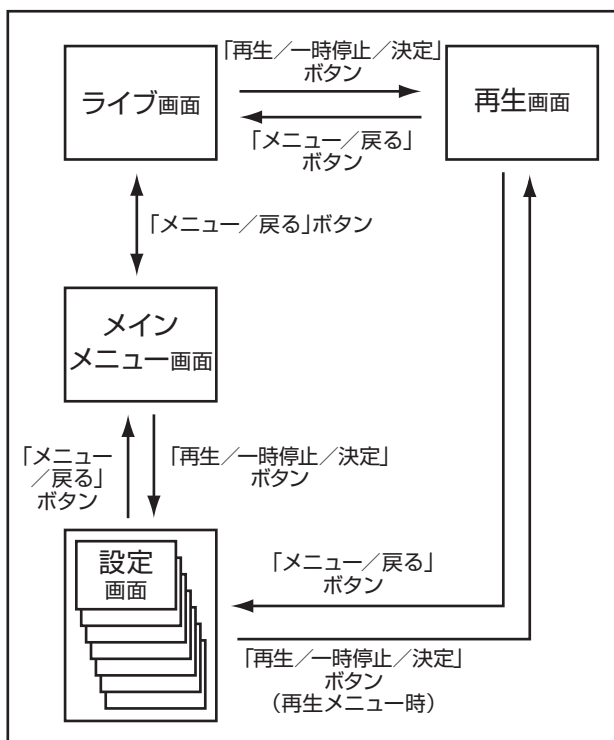
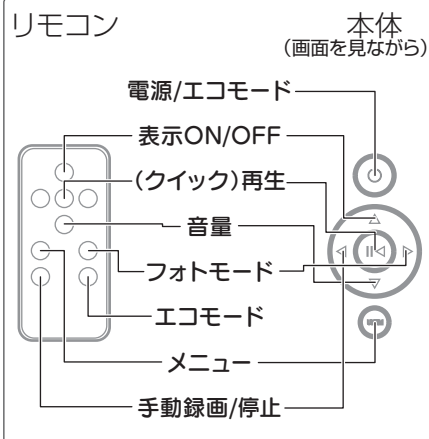
レコーダーモードにはカメラのライブ映像を映す**ライブ画面**、録画映像を映す**再生画面**、機器の設定をする**設定画面(メインメニュー画面)**があります。各画面は下図のような関係になっています。

機能配置図

再生画面

設定画面

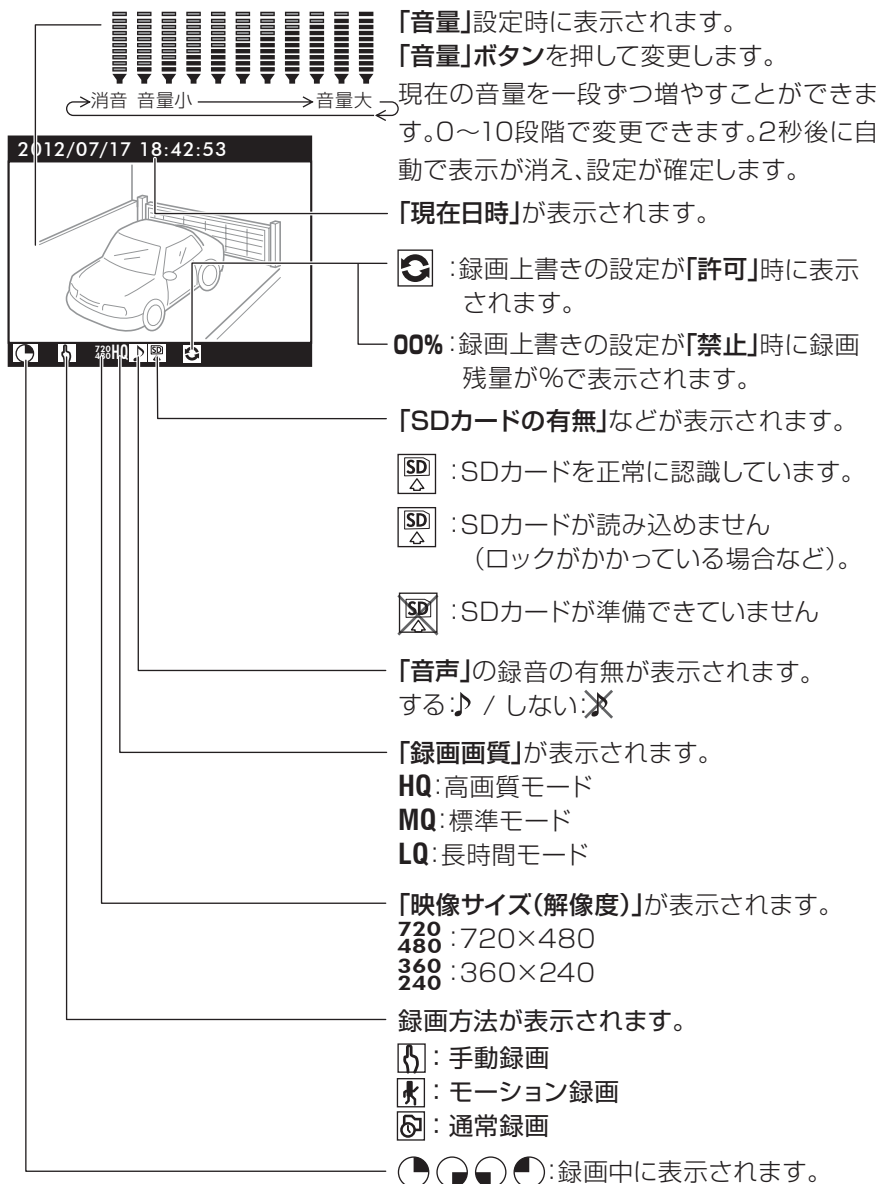
メインメニュー ■

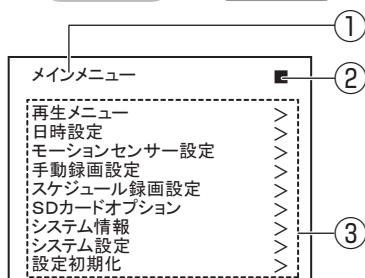
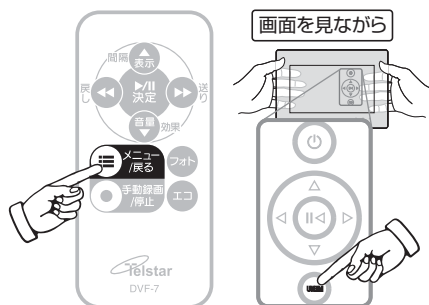
再生メニュー >
日時設定 >
モーションセンサー設定 >
手動録画設定 >
スケジュール録画設定 >
SDカードオプション >
システム情報 >
システム設定 >
設定初期化 >

※画面表示は説明のための画面例です。
実際の表示とは異なります。

ライブ画面

ライブ画面ではカメラのライブ映像を確認できます。**「表示」**ボタンで「日時」などの画面表示をすべて隠すことができます。

再生画面

「再生メニュー」で日時を選択するか、**「ライブ画面」**時に▶/II **「再生/一時停止」**ボタンで録画映像が再生します。**「表示」**ボタンで画質情報などを隠すことができます。

メインメニュー画面

各種設定を行います。**「メニュー/戻る」**ボタンをライブ画面表示中に押すと各設定画面が表示されます。

①項目の表題を表示します。

②メニュー階層を表示します。

■　　:第１階層(メインメニュー)
■■　:第２階層(サブメニュー)
■■■: 第３階層

③メニュー内容が表示されます。
「△・▽」ボタンでカーソルを上下に移動します。(選択時は□枠囲み)

「決定」ボタンを押すと、選択したサブメニュー画面に切り替わります。

「メニュー / 戻る」ボタンを押す
１つ前の画面に戻ります。

再生メニュー
録画データの日付フォルダーの一覧を表示し、目的のデータを選択して再生します。
⇒「再生する」P42参照

日時設定
⇒「日時の設定」P25参照

モーションセンサー設定
エリア設定、感度設定をします。
⇒「モーションセンサーの設定」P26参照

手動録画設定
⇒「手動録画設定」P32参照

スケジュール録画設定
録画スケジュールの設定とモーション録画と通常録画の画質設定をします。
⇒「スケジュール録画設定」P33参照

ＳＤカードオプション
最大ファイルサイズ、録画上書き、動画ファイル削除、SDカードフォーマットの設定をします。
⇒「ＳＤカードオプション」P36参照

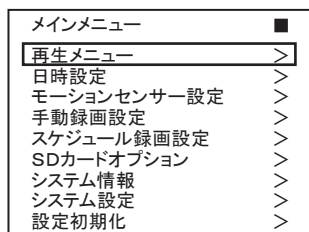
システム情報
⇒「システム情報」P46参照

システム設定
⇒「システム設定」P47参照

設定初期化
⇒「設定初期化」P49参照

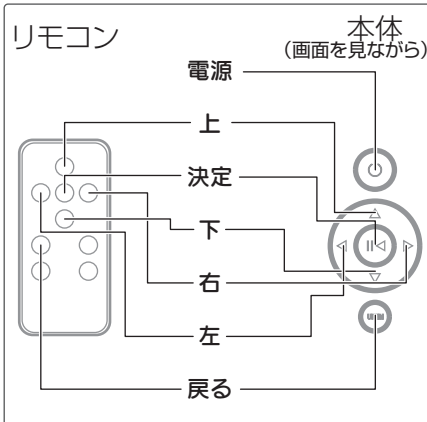
メインメニュー

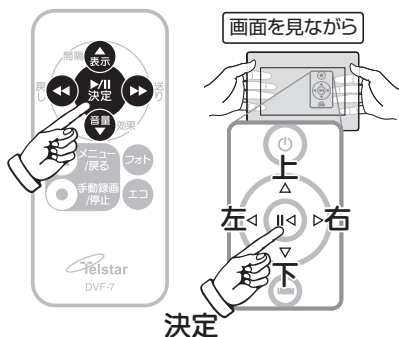
メインメニュー画面

各種設定を行います。
下の**「メインメニューを表示する」**を参考に、**「メインメニュー」**を表示します。
⇒「メインメニュー画面」P23参照

メインメニューを表示する

- **「ライブ画面(カメラの映像)」**が表示中の場合
  「メニュー／戻る」ボタンを押す。
- **「フォト(スライドショー)画面」**が表示中の場合
  「フォト」ボタンを押す→**「ライブ画面」**が表示→**「メニュー／戻る」**ボタンを押す
- **「再生画面」**表示中の場合
  「メニュー／戻る」ボタンを2回押す
- **「エコ画面」**が表示中の場合
  「エコ」ボタンを押す→**「ライブ画面」**が表示→**「メニュー／戻る」**ボタンを押す

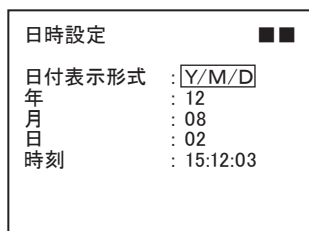
【おしらせ】
手動録画中はメインメニューは表示できません。録画を停止してから操作してください。

機能配置図

メインメニューの基本操作

1. **「上・下」ボタンで変更したいメニューに□枠を移動する**
2. **「決定」ボタンを押す**
   選択したメニュー(2階層目)が表示されます。

日時の設定

日時設定

日時の設定を行います。
設定前に必ず**録画を停止**してください。

「メインメニューの基本操作」をおこない、
「日時設定」を表示します。
⇒「メインメニューの基本操作」P24参照

日付表示形式

年/付/日の並び順を設定します。
　Y/M/D(例:2012年08月02日)
　D/M/Y(例:02日08月2012年)
　M/D/Y(例:08月02日2012年)

年

年を設定します。設定が可能な年数は、2000年から2099年です。

月

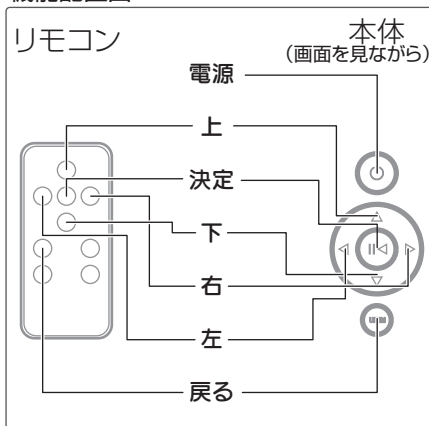
月を設定します。

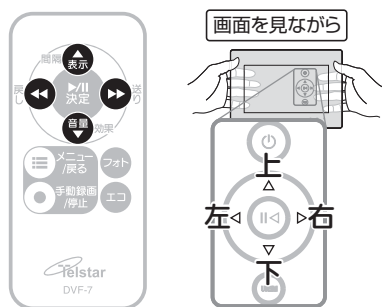
日

日付を設定します。

時刻

時刻を設定します。

機能配置図

1. **「上・下」ボタンで変更したいメニューに□枠を移動する**

2. **「左・右」ボタンで項目や数値を変更する**

【おしらせ】

●設定は**「左・右」**ボタンを押し、数値を変更した時点から更新されます。

【ご注意】

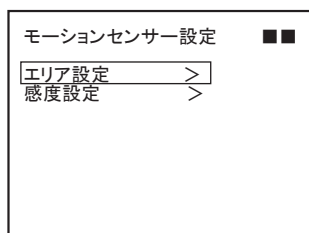
・設定前に必ず**録画を停止**してください。
録画中は画面左下に録画マーク「◔」が表示されます。録画マークの表示が無い事を確認してください。

モーションセンサーの設定

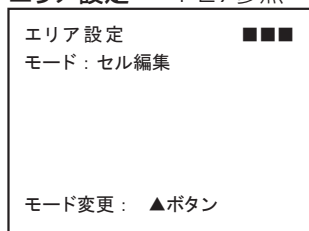
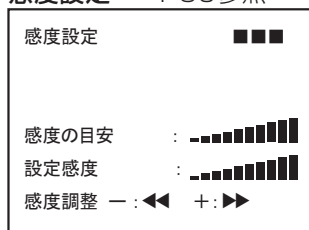
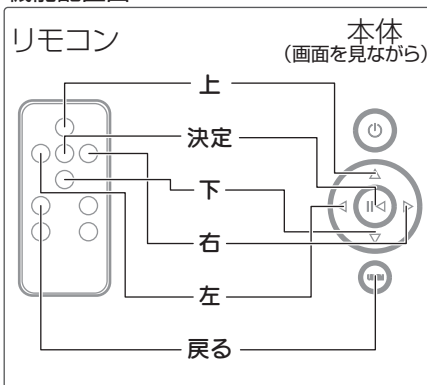
モーションセンサー設定

映像の変化から動体を検知するモーションセンサーの設定を行います。

「メインメニューの基本操作」をおこない、**「モーションセンサー設定」**を表示します。

⇒「メインメニューの基本操作」P24参照

1. **「上・下」ボタンで変更したいメニューに□枠を移動する**

2. **「決定」ボタンを押す**
   選択したメニュー(3階層目)が表示されます。

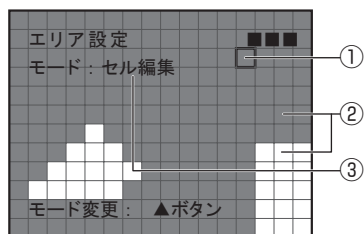
エリア設定 ⇒P27参照

感度設定 ⇒P30参照

機能配置図

【おしらせ】

● モーションセンサーによる録画を開始するには「スケジュール設定」で設定が必要です。
⇒「スケジュール録画設定」P33参照

● モーション検知時より前の映像を設定した秒数記録する**「プレ録画」**が設定できます。
⇒「モーション録画設定」P34参照

● 検知時に**「警告音」**を鳴らすことができます。音の種類は**「チャイム・ベル・鳥のさえずり」**で警告音を鳴らさない**「無し」**の設定も可能です。
⇒「システム設定」P47参照

エリア設定

全画面を検知または非検知にしたり、ブロック単位で検知または非検知にすることができます。目的の範囲のみ検知することで検知精度をあげることができます。

①：カーソル

②：検知ブロック
赤：検知
白：非検知
画面全体は16×12の四角形の枠に分割されています。

③：モード
以下の編集モードがあり、モード変更をする場合は▲ボタンを押します。

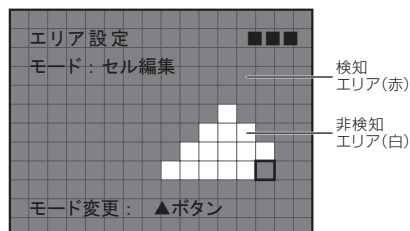
セル編集
エリア消去
全エリア非検知
エリア追加
全エリア検知

モードの変更

モーションセンサーの検知エリアを編集するモードを変更します。

1. **「上」▲ボタンを押す**
   モード名が表示され、モードが切り替わります。

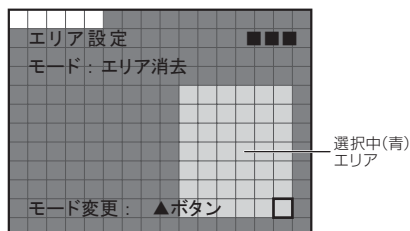
セル編集

ブロック単位で検知(赤)、非検知(白)を設定できます。

1. **「左・右・下」ボタンで検知可能または非検知したい場所にカーソルを移動する**
2. **「決定」ボタンを押す**
   検知(赤)、もう一度押すと非検知(白)になります。

【おしらせ】

● ブロック単位で切り替わるため検知(赤)・非検知(白)の範囲を微調整する場合に便利です。
● カーソルの移動は「左・右・下」ボタンでおこないます。カーソルを上に移動したい場合は「下」ボタンを押し続けます。

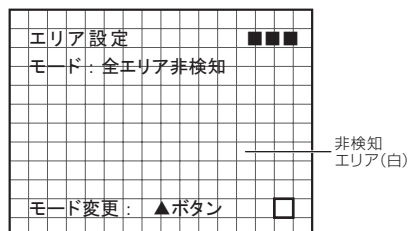
エリア消去

検知(赤)エリアの選択した範囲を非検知(白)にします。

1. **「左・右・下」ボタンで非検知にしたいエリアの始点にカーソルを移動する**
2. **「決定」ボタンを押す**
   エリアの始点が選択(青)されます。
3. **「左・右・下」ボタンで非検知にしたいエリアの終点にカーソルを移動する**
   選択中(青)のエリアが表示されます。
4. **「決定」ボタンを押す**
   選択中(青)のエリアが非検知(白)になります。

【おしらせ】

●エリアを始点と終点を選んで選択するため効率的に検知(赤)エリアを消すことができます。
「エリア追加」と逆の働きをします。

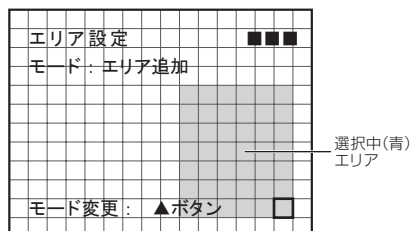
全エリア非検知

全てのエリアを一括で非検知(白)にします。

1. **「決定」ボタンを押す**
   全てのエリアが非検知(白)になります。

【おしらせ】

●「全エリア検知」と逆の働きをします。

エリア追加

非検知(白)エリアの選択した範囲を検知(赤)にします。

1. **「左・右・下」ボタンで非検知にしたいエリアの始点にカーソルを移動する**

2. **「決定」ボタンを押す**
   エリアの始点が選択(青)されます。

3. **「左・右・下」ボタンで非検知にしたいエリアの終点にカーソルを移動する**
   選択中(青)のエリアが表示されます。

4. **「決定」ボタンを押す**
   選択中(青)エリアが検知(赤)になります。

【おしらせ】

●エリアを始点と終点を選んで選択するため効率的に検知(赤)エリアを追加することができます。
「エリア消去」と逆の働きをします。

全エリア検知

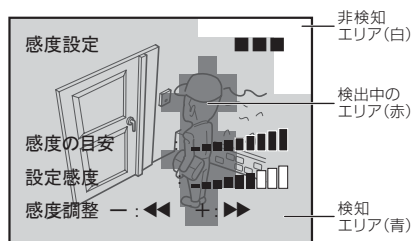
全てのエリアを一括で検知(赤)にします。

1. **「決定」ボタンを押す**
   全てのエリアが検知(赤)になります。

【おしらせ】

●「全エリア非検知」と逆の働きをします。

感度設定

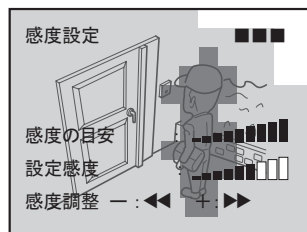
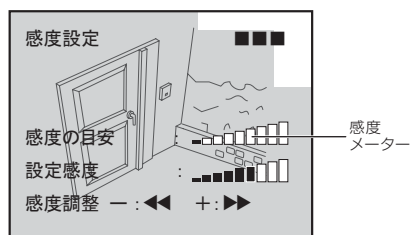
モーション録画時の検知感度を設定します。「感度の目安」は、ライブ画面でモーション(動く度合い)を測定しながら調整します。

検知設定の確認

ライブ(カメラ映像)画面内の検知感度の反応を確認することが出来ます。
検出中のエリア(青)内で、検知すると検知ブロック単位で赤く反応します。

【おしらせ】

●事前に動き(検出)の度合いをお確かめの上、「設定感度」を調整してください。カメラの前で協力者に動いてもらうなどして、実際の撮影状況を再現しながら設定すると精度の高い設定が可能となります。

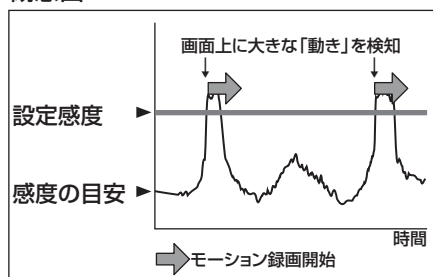
●非検知に設定したエリア(白)に動きがあっても検知しません。

画面上に「動き」があると、「感度の目安」の感度メーターが反応します。値は絶えず変化しています。「動き」が大きいほど、感度メーターの振れが大きくなります。モーション録画では「感度の目安」の値が「設定感度」の値を超えた時に録画が開始し、警告音が鳴りますます(警告音を設定した場合)。

1. **現在の映像を検知し「感度の目安」の数値を確認する**

2. **「設定調整」を「左・右」◀◀・▶▶ボタンで設定感度を調整する**

【おしらせ】

●モーションセンサーによる録画を開始するには「スケジュール設定」で設定が必要です。
⇒「スケジュール設定」P34参照

概念図

【おしらせ】

- 本機は単位時間の変化量を検知して作動する方式を採用していますので、短時間内に捕らえている画面に大きな変化が発生した場合、モーション検知の機能が作動する場合があります。

例）雷、風雨による木々の大きな変化、車のヘッドライトなどでも反応します。

- 本機にはモーション検知の最大10秒前から映像を記録できる**「プレ録画」**機能があります。
⇒「モーション録画設定」P34参照

録画設定

手動録画設定

いつでも好きな時に録画できる手動録画の設定をします。

「メインメニューの基本操作」をおこない、**「手動録画設定」**を表示します。

⇒「メインメニューの基本操作」P24参照

1. **「上・下」ボタンで変更したいメニューに□枠を移動する**
2. **「左・右」ボタンで項目や数値を変更する**
3. **「メニュー／戻る」ボタンを押す**
   設定が確定します。

機能配置図

【おしらせ】

● 本機はカメラ(別売)を接続し初期状態で電源を入れ録画ボタンを押せば付属のSDカード(4GB)で約2日間の録画ができます。

解像度

2種類から選択します。

720×480

360×240

フレームレート(FPS)

1秒間に何コマ記録するかの数値です。以下から選択します。

01･02･04･10･15･20･30

画質

HQ高画質･MQ標準･LQ長時間

音声

マイク内蔵カメラを使用する際にONにします。映像と音声が同時に記録できます。

【メモ】

解像度

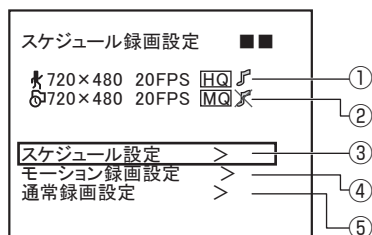
記録される画像のきめ細かさのことで、モニター上で表示できる広さ(ドット数)で表記します。数値が大きいほど映像は綺麗ですが、データ量は大きくなります

フレームレート

1秒間に何コマ記録するかの数値です。30FPSの場合は1秒間に30コマのデータを記録します。数値が大きいほど映像の動きはスムーズですが、データ量が大きくなり録画できる時間が短くなります。

スケジュール録画設定

録画スケジュールの設定をします。設定した時間内に動きがあった場合に録画を開始する**「モーション録画」**と、設定した時間内は全て録画する**「通常録画」**の録画方法をそれぞれ設定することが可能です。

「メインメニューの基本操作」をおこない、**「スケジュール録画設定」**を表示します。
⇒「メインメニューの基本操作」P24参照

①:「モーション録画」の設定内容を表示します。

②:「通常録画」の設定内容を表示します。

③:録画スケジュールの実行の有無と1日(24時間)の予約録画の設定をします。

④:「モーション録画」の設定画面です。

⑤:「通常録画」の設定画面です。

1. **「上・下」ボタンで変更したいメニューに□枠を移動する**

2. **「決定」ボタンを押す**
   選択したメニュー(3階層目)が表示されます。

【おしらせ】

- 本機の**スケジュール録画機能は「通常録画」で全時間帯を録画しながら、検知があった場合は「モーション録画」に切り替える優れた録画機能をもっています。**初期設定では「スケジュール設定」をONにするだけで普段は低画質低フレームで録画しながら、検知した場合には高画質高フレームで録画する設定になっています。
  ⇒「出荷時設定」P49参照
- 「スケジュール:」をONにしないとスケジュール録画は開始されません。
- モーション検知時より前の映像を設定した秒数記録する**「プレ録画」**が設定できます。
  ⇒「モーション録画設定」P34参照
- 検知時に3種類の**「警告音」**を鳴らすことができます。警告音を鳴らさない設定も可能です。
  ⇒「システム設定」P47参照

設定は初期設定におまかせ!
「スケジュール設定」をONにして
まずは使ってみましょう。

スケジュール設定

①：スケジュール録画を実行する際にONにします。

②：1日(24時間)を1時間ごとに設定します。「モーション録画」と「通常録画」の録画設定をそれぞれ変えることができます。

✡：全て有効
「通常録画」で継続的に録画し、動きを検知すると、「モーション録画」に切り替わり、設定秒数録画後、「通常録画」に戻ります。

：通常録画
その時間内は全て録画したい場合に選択します。

：モーション録画
動きがあった時のみ録画したい場合に選択します。

☒：録画停止
録画しない場合に選択します。

1. **「上・下」ボタンで変更したい項目に□枠を移動する**

2. **「左・右」ボタンで項目を変更する**

3. **「メニュー／戻る」ボタンを押す**
設定が確定します。

モーション録画設定

設定した時間内に動きがあった場合に録画を開始する「モーション録画」の設定をします。

モーション録画設定 ■■■

解像度	：720×480
フレームレート	：30 FPS
画質	：HQ 高画質
音声	：ON
録画秒数	：60
プレ録画秒数	：5

1. **「上・下」ボタンで変更したい項目に□枠を移動する**

2. **「左・右」ボタンで項目や数値を変更する**

3. **「メニュー／戻る」ボタンを押す**
設定が確定します。

解像度
2種類から選択します。
720×480　360×240

フレームレート(FPS)
1秒間に何コマ記録するかの数値です。以下から選択します。
01・02・04・10・15・20・30

画質
HQ高画質・MQ標準・LQ長時間

音声
マイク内蔵カメラ使用時にONにします。

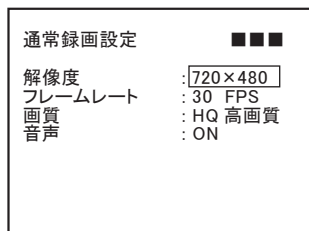
録画秒数
録画する秒数です。5〜90秒(5秒刻み)

プレ録画秒数
モーション検知時より前の映像を設定した秒数記録します。
0(無効)〜10秒(1秒刻み)

通常録画設定

設定した時間内は全て録画する「通常録画」の設定をします。

```
通常録画設定                ■■■

解像度            :720×480
フレームレート      : 30  FPS
画質              : HQ 高画質
音声              : ON
```

1. **「上・下」ボタンで変更したい項目に□枠を移動する**
2. **「左・右」ボタンで項目や数値を変更する**
3. **「メニュー／戻る」ボタンを押す**
   設定が確定します。

解像度

720×480　360×240

フレームレート(FPS)

01・02・04・10・15・20・30

画質

HQ高画質・MQ標準・LQ長時間

音声

マイク内蔵カメラ使用時にONにします。

【おしらせ】

●「スケジュール：」をONにしないと
スケジュール録画は開始されません。

録画可能時間の目安

(4GB SDHCカード使用時)
録画時間はあくまで目安であり、映像内容により大幅に変わります。

解像度　720×480　（単位：時間）

フレームレート	30	20	15	10	4	1
高画質	7	10	12	21	24	33
標準	14	21	25	45	52	72
長時間	24	36	43	77	89	124

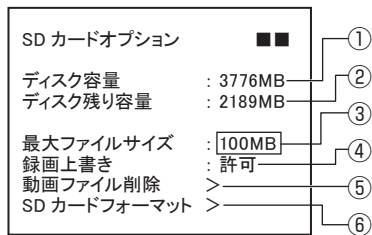
解像度　360×240　（単位：時間）

フレームレート	30	20	15	10	4	1
高画質	22	29	34	51	61	73
標準	32	43	51	76	91	109
長時間	42	56	67	100	120	144

SDカードオプション

SDカードオプション

「メインメニューの基本操作」をおこない、**「SDカードオプション」**を表示します。

⇒「メインメニューの基本操作」P24参照

①:SDカードの全体の容量を表示します。

②:SDカードの空き容量を表示します。

③:1ファイル毎の最大容量を設定します。
3MB･10MB･20MB･50MB･100MBのいずれかを選択します。

④:録画中にSDカードの容量がいっぱいになった場合、古いデータを上書きして録画するかどうかを設定します。
許可･禁止から選択します。

⑤:**「動画ファイル削除」**の実行画面です。

⑥:**「SDカードフォーマット」**の実行画面です。

1. **「上･下」ボタンで変更したいメニューに▭枠を移動する**

2. **「左･右」ボタンで項目や数値を変更する**

3. **「メニュー／戻る」ボタンを押す**
設定が確定します。

「録画上書き」:許可
録画中にSDカードの空き容量がなくなった場合、古い映像から上書き消去します。

「録画上書き」:禁止
録画中にSDカードの空き容量がなくなった場合、「SDカードフル」とメッセージを表示し録画を停止します。

【おしらせ】

●録画可能時間は、①SDカードの容量、②録画する画質、③映像変化の度合いにより変化します。

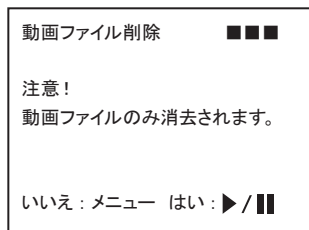
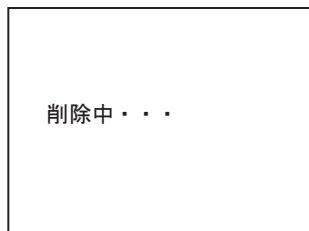
●画面全体が動いている場合の録画は、記録する量が膨大になります。
→録画時間が少なくなります。

●画面のほんの一部だけ動いている場合の録画は、記録するデータ量が少なくて済みます。
→録画時間が長くなります。

【ご注意】

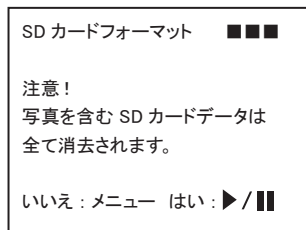
･録画を始める前には、必ず**録画上書き**の設定をご確認ください。
「録画上書き」:許可の設定で録画上書きします。
「録画上書き」:禁止の設定でSDカードが一杯になったら上書きせず、録画が自動で停止します。

動画ファイル削除

動画ファイルのみ消去したい場合に設定します。

1. **「決定」ボタンを押す**
   動画ファイルのみ消去されます。
   「削除中・・・」の表示が消えるまでお待ちください。

【おしらせ】

- 動画ファイルの削除には時間がかかる場合があります。
- フォトモード用の画像データは削除されません。

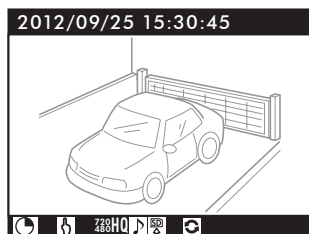
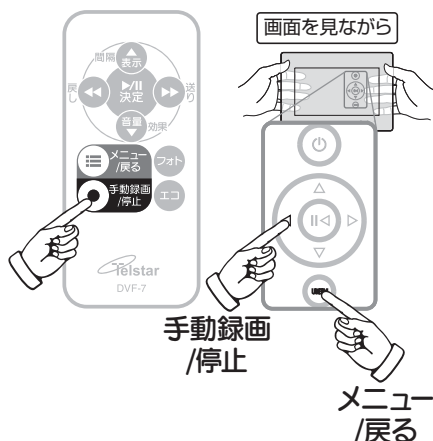
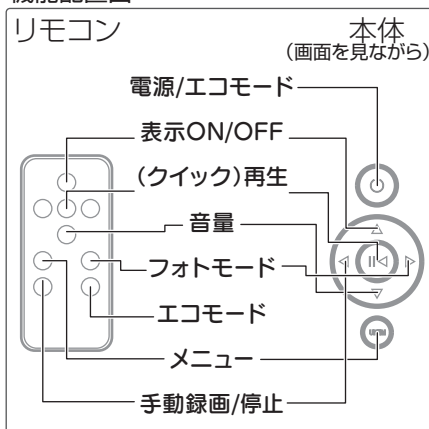
SDカードフォーマット

SDカード内のすべての保存データを消去し、本機で使用可能な状態にします。写真を含むSDカード内のデータを全て消去します。

1. **「決定」ボタンを押す**
   SDカード内の「DVH264」フォルダーと「JPEG」フォルダーに保存されていた全てのデータが消去されます。

録画する

録画を開始する

手動録画

いつでも好きなときに録画するのに適しています。ライブ画面から録画を開始します。スケジュール録画中も録画可能です。
下の**「ライブ画面を表示する」**を参考に、**「ライブ画面」**を表示します。
⇒「ライブ画面」P21参照

1. **「手動録画／停止」ボタンを押す**
左下に録画中マーク「◔」が回転。
手動録画の状態(「 」マーク表示)になります。

機能配置図

ライブ画面を表示する

●**「フォト(スライドショー)画面」**が表示中の場合
「フォト」ボタンを押す

●**「再生画面」**が表示中の場合
「メニュー／戻る」ボタンを押す

●**「エコ画面」**が表示中の場合
「エコ」ボタンを押す

【おしらせ】

●録画中に「再生」ボタンを押すと録画が停止し、直前に記録したファイルを再生します。
●録画中にフォトモード(スライドショー)に移ったり、エコモードにすることができます。
●「スケジュール録画」中に「手動録画」が開始できます。
●「手動録画」中は「メインメニュー」に入れません。
●「手動録画」中電源を切らないでください。

スケジュール録画

録画スケジュールの実行の有無を決めたり、1日(24時間)を1時間ごとに区切って予約録画ができます。

✡「通常録画」で継続的に録画し、動きを検知すると、「モーション録画」に切り替わり、設定秒数録画後、「通常録画」に戻ります。

「通常録画」のみ。

「モーション録画」のみ。

☒録画しない。ただし「手動録画」による録画は可能です。

⇒「スケジュール録画設定」P33参照

モーション録画

前もって設定された映像変化(設定感度値を超えた場合)で録画を開始します。録画待機するスケジュール時間を設定することが出来ます。設定されたスケジュール時間内で、設定された映像変化のとき録画を開始します。

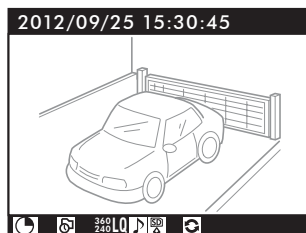
⇒「モーション録画設定」P34参照

通常録画

設定されたスケジュール時間内で、継続的に長期間の録画をするのに適しています。

⇒「通常録画設定」P35参照

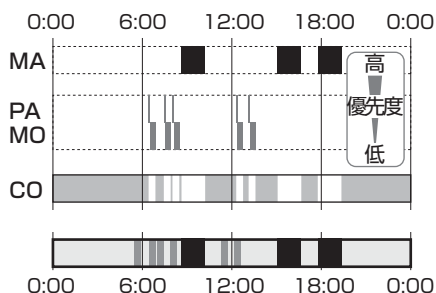
「メインメニューの基本操作」をおこない、**「スケジュール録画設定」**
→「スケジュール設定」を表示します。

⇒「メインメニューの基本操作」P24参照
⇒「スケジュール設定」P34参照

1. **「スケジュール:」を「ON」にする**

設定した時間になると、左下に録画中マーク「◔」が回転。スケジュール録画の状態になります。通常録画中では「」マーク、モーション録画中には「」マークが表示されます。

【おしらせ】

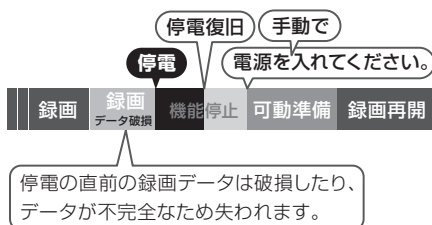
● 「スケジュール:」をONにしないとスケジュール録画は開始されません。
● 録画中に「再生」ボタンを押すと録画が停止し、直前に記録したファイルを再生します。
● モーション検知時より前の映像を設定した秒数記録する**「プレ録画」**が設定できます。
⇒「モーション録画設定」P34参照
● 検知時に**「警告音」**を鳴らすことができます。音の種類は**「チャイム・ベル・鳥のさえずり」**で警告音を鳴らさない**「無し」**の設定も可能です。
⇒「システム設定」P47参照

各録画を組み合わせて設定する
スケジュール録画の設定を✡にしている場合、「通常録画」中に動きを検知すると、「モーション録画」に切り替わります。更に「手動録画／停止」ボタンを押して「手動録画」に切り替えることができます。それぞれの画質などの設定を
「手動録画」：高画質高フレーム
「モーション録画」：中画質中フレーム
「通常録画」：低画質低フレーム
のように設定しておけば、撮り逃しを防ぎ、効率的に録画ができます。
「モーション録画」では検知があった時点以前の映像を設定した秒数記録する**「プレ録画」**を備えており、一瞬を逃しません。

MA：手動録画
PA：プレ録画
MO：モーション録画
CO：通常録画

録画の優先順位
録画の優先順位は以下の順です。
手動録画＞モーション録画＞通常録画

映像および音声の記録について
映像が記録・保存されているときは、システムがSDカードにアクセスし、録画表示LEDが点灯します。

【ご注意】
・録画中にSDカードを抜かないで下さい。SDカードに保存されたデータが破損し、認識しなくなる場合があります。
・録画中に電源を抜いたりしないでください。不完全なデータ、データの抹消、データ破損などとなります。

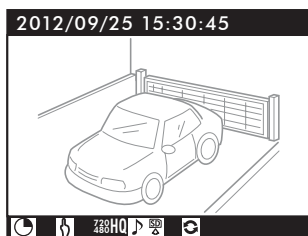
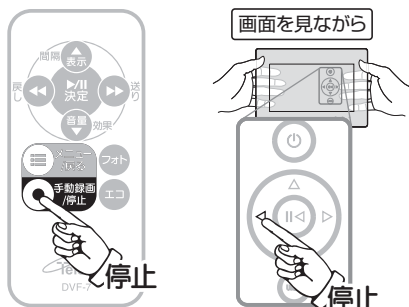
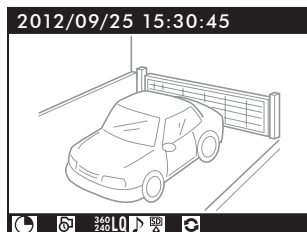
【おしらせ】
●本機は停電が復旧したあと、自動で復帰（電源が入る）はしません。手動で電源を入れてください。電源を入れてしばらくすると、録画が開始されます。録画の設定はそのまま保たれます。
●録画中に映像の入力信号が途切れると録画が中止されます。それまで記録されていた映像は残りますが、場合によってはデータが失われることがあります。

録画を停止する

「フォトモード(スライドショー)」中や「エコモード」中は「ライブ画面」に戻ってから録画を停止します。

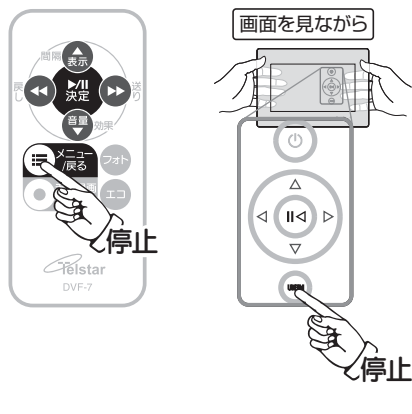
録画画面に戻る

● **「フォトモード(スライドショー)」**中は**「フォト」**ボタンを押す

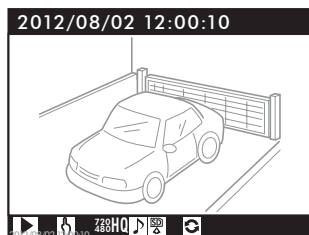
● **「エコモード」**中は**「エコ」**ボタンを押す

手動録画中から録画を停止する

1. **「手動録画/停止」ボタンを押す**
手動録画が停止します。

スケジュール録画中に録画を停止する

1. **「メニュー/戻る」ボタンを押す**
メインメニュー画面になります。

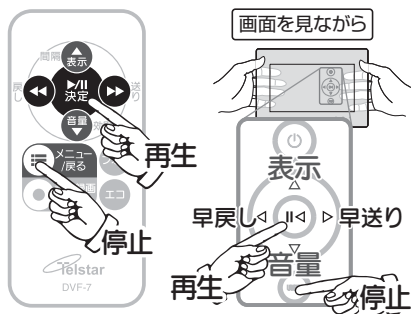
2. **「スケジュール設定」を選択し「決定」ボタンを押す**
スケジュール録画設定画面になります。

3. **「スケジュール設定」の「スケジュール:」で「OFF」を選択し「メニュー/戻る」ボタンを押す**
設定が確定し、録画が停止します。

再生する

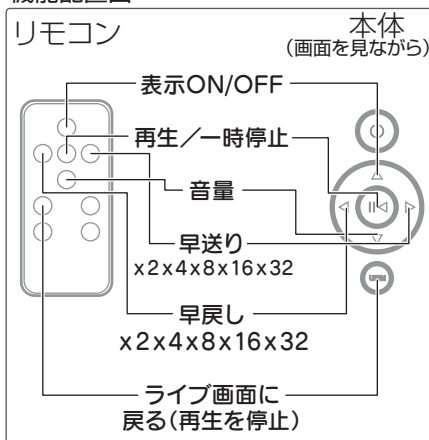
クイック再生

最新の録画ファイルを再生します。その後は古い順番にファイルを再生します。ライブ画面から簡単に録画映像を見ることができます。手動録画中は録画を停止し、直前に録画した録画映像を再生します。

1. ▶／❚❚「再生／一時停止」ボタンを押す

   最新の録画ファイルを再生します。その後は古い順番にファイルを再生します。

2. 「メニュー／戻る」ボタンで停止

【おしらせ】

- クイック再生は録画を中止して再生しますので重要な録画中にはおこなわないことをおすすめします。
- 録画ファイル再生中は記録時の日時が表示されます。

機能配置図

再生画面の操作

▶／❚❚「再生／一時停止」ボタン

ノーマルスピードで再生します。もう一度押すと一時停止し、もう一度押すと再生します。

▶▶「早送り」ボタン

倍速再生します。(2倍／4倍／8倍／16倍／32倍)

一時停止中は**コマ送り**します。

◀◀「早戻し」ボタン

倍速逆再生します。(2倍／4倍／8倍／16倍／32倍)

一時停止中は**秒戻し(1秒ずつ)**します。

ノーマルスピードに戻すには、▶／❚❚「再生/一時停止」ボタンを押します。

「表示」ボタン

画質情報などを隠すことができます。

「メニュー／戻る」ボタン

再生を**停止**し、ライブ画面に戻ります。

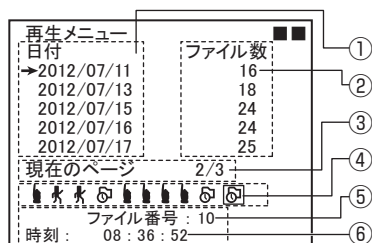
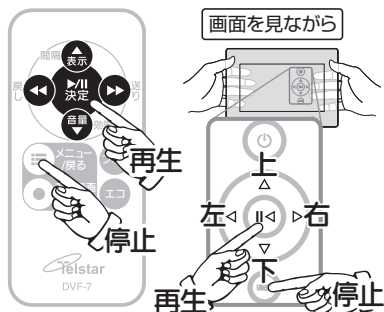
「音量」ボタン

音量を変更します。

一覧から選択して再生する

録画データの日付フォルダーの一覧を表示し、目的のデータを選択して再生します。

「メインメニューの基本操作」をおこない、**「再生メニュー」**を表示します。

⇒「メインメニューの基本操作」P24参照

1. **「上・下」ボタンで変更したい日付に「➔」を移動する**
2. **「左・右」ボタンで再生したいファイルに□枠を移動する**
   選択したファイルのファイル番号や時刻が表示されます。
3. **▶／II「再生／一時停止」ボタンを押す**
   選択したファイルが再生します。
4. **「メニュー／戻る」ボタンで停止**

①:日付別に録画ファイルがまとめられています（日付フォルダー）。**「上・下」ボタン**で**「➔」矢印**を移動させ、日付フォルダーを選択します。5日分を1ページとして表示します。

②:日付フォルダーにあるファイル数が表示されます。

③:日付フォルダーのページを**現在のページ／ページ総数**で表示します。5日単位でページ総数が増えます。

④:日付フォルダー内の録画ファイルの一覧です。10ファイルまで表示されます。録画方法がアイコンで表示されます。

- : **手動録画**
- : **モーション録画**
- : **通常録画**
- ((◎)): **プレ録画**

⑤:選択したアイコンのファイル番号が表示されます。

⑥:選択したファイルの記録時刻が表示されます。

例:

①日付フォルダーは1ページに5日分まで表示します。2012年7月11日の日付フォルダーを選択（②ファイル数16個）。③現在は3ページのうち2ページ目の1番目にいます。④通常録画のファイルを選択⑤ファイル番号は10⑥録画された時刻は8時36分52秒

【おしらせ】

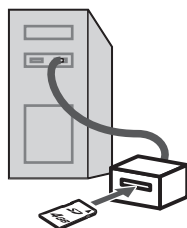
●ごくまれに再生速度が遅くなる場合があります。その場合はパソコン上で再生してください。

パソコンで再生する

パソコンで再生する

SDカードに記録された映像の録画データをパソコン上で再生することができます。

【カードを読み込む場合のご注意】

SDカードスロットが無いパソコンに接続する際、ご使用するカードリーダーはSDHCメモリーカード対応のカードリーダーをご用意ください。

【おしらせ】

- Windows OSに標準でインストールされている「メディアプレーヤー」で再生可能です。最新バージョンでのご使用をお勧めします（メディアプレーヤー11以降推奨）。
- windowsのエクスプローラーのメニューで表示→詳細を選択し、更新日時で並べ替えると、ファイルが作成された時間が表示されます。検索に便利です。
- ファイルのバックアップ
  SDカード内の「DVH264」フォルダもしくは任意のAVIファイルをコピーしてください。

【メモ】

SDHCメモリーカードとは

SDHCメモリーカードは、形や大きさはSDメモリーカードと同じですが、既存のSDメモリーカードのみに対応する機器やメモリーカードスロットを備えたパソコンでは、データの読み書きができません。これは、SDHCメモリーカードで使われているファイルシステムがFAT16からFAT32に変更されたためです。SD（FAT16対応）対応機器では読み書きができません。なお、SDHC対応機器は、従来のSDメモリーカードも併用できます。

動画ファイル

データはSDカード内の「DVH264」フォルダにAVI形式で保存されます。動画ファイル名は次のように表示されます。

MA：手動録画
PA：プレ録画
MO：モーション録画
CO：通常録画

【おしらせ】

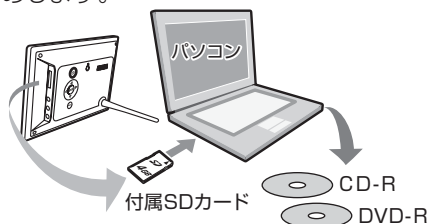
- モーション検知があった時点でモーション録画（MO）とプレ録画（PA）のAVIファイルが一緒にできます。
- 本機の「プレ録画」は、内蔵メモリーに録画データを一定秒数書き換え続けており、モーション検知があった時点でそれ以前の録画データをAVIファイル形式に書き出します。

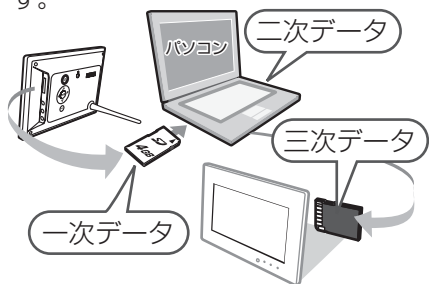
 ※「モーション録画」の設定で「プレ録画」の秒数を0以外に設定した場合

【ご注意】

・本機で記録された録画データ以外の動画データを再生することはできません。

データの保存

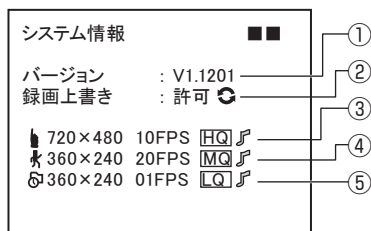
SDカードに記録された録画データをパソコンで保存することができます。大切なデータはこまめにパソコンへ移動し、市販のCD-R・DVD-Rなど汎用メディアにバックアップすることをお勧めします。

【ご注意】

・パソコンへコピーした録画データ(二次データ)を、再びSDカードへ戻さないでください。録画データは日付によって管理されています。SDカードに一次データと三次データが混在した場合、コピー時の日時で管理されるため、「再生メニュー」の日付の順番がずれたり、表示されない場合があります。

【おしらせ】

- 再生画面に表示される日時（タイムスタンプ）はデータを移動しても変わることはありません。

システム情報

システム情報

システム情報を表示します。
「メインメニューの基本操作」をおこない、**「システム情報」**を表示します。
⇒「メインメニューの基本操作」P24参照

①:ファームウェアのバージョン情報を表示します。
②:録画上書きの設定情報(許可または禁止)を表示します。
③:「手動録画」の設定内容を表示します。
④:「モーション録画」の設定内容を表示します。
⑤:「通常録画」の設定内容を表示します。

ファームウェアのアップデート

本機はファームウェアのアップデートが可能です。
弊社ホームページへアクセスして頂き、ダウンロードのページへお進みください。該当機種の最新ファームウェアをダウンロードできます。
ダウンロード後、SDメモリーカードにアップデートファイルを保存し、本製品のSDカードスロットへ差し込みます。
本機起動後、ファームウェアは自動でアップデートします。

コロナ電業株式会社　ホームページアドレス
http://www.corona-dengyo.co.jp

システム設定

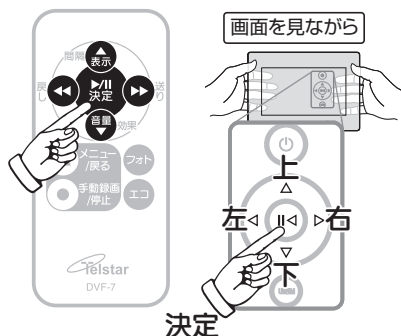
システム設定

明るさ、コントラスト、警告音などのシステムの設定をします。

「メインメニューの基本操作」をおこない、**「システム設定」**を表示します。

⇒「メインメニューの基本操作」P24参照

システム設定	■■
言語	: 日本語
明るさ	: 5
コントラスト	: 5
色の濃さ	: 5
色合い	: 5
スライドショー間隔	: 3秒
スライドショー効果	: フェード
警告音	: チャイム

1. **「上・下」ボタンで変更したい項目に□枠を移動する**
2. **「左・右」ボタンで項目や数値を変更する**
3. **「メニュー／戻る」ボタンを押す**
   設定が確定します。

言語

言語を設定します。
日本語・ENGLISH(英語)・中文(中国語)より選択します。

SYSTEM SETUP	■■
LANGUAGE	: ENGLISH
BRIGHTNESS	: 5
CONTRAST	: 5
COLOR	: 5
TINT	: 5
TRANS. TIME	: 3SEC
TRANSITION	: CUTTING
WARN SOUND	: SOUND1

系統設定	■■
語　言	: 中文
亮　度	: 5
對　比	: 5
飽和度	: 5
色　相	: 5
轉場時間	: 3 秒
特效轉換	: 無し
警告音	: 無し

明るさ

液晶画面の明るさの設定します。
0〜10より選択します。

コントラスト

液晶画面のコントラストの設定をします。
0〜10より選択します。

色の濃さ

液晶画面の色の濃さの設定をします。
0〜10より選択します。

色合い

液晶画面の色合いの設定をします。
0〜10より選択します。

【おしらせ】

- モニターの明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合いの設定は録画映像にも反映されます。

スライドショー間隔

スライドショーの間隔を設定します。
3秒･7秒･15秒より選択します。
リモコン及び本体のボタンで随時変更が可能です。

スライドショー効果

スライドショーの効果を設定します。
ノーマル･ワイプ･フェードより選択します。
リモコン及び本体のボタンで随時変更が可能です。

警告音

モーション検知時に鳴る警告音を設定します。
無し･チャイム･ベル･鳥のさえずりより選択します。

設定初期化

設定初期化

本体の設定を工場出荷時の設定に初期化します。

【おしらせ】

●スライドショー用の写真データや録画データなどＳＤカードに保存されたデータは消すことはできません。

設定初期化　■■

初期化しますか？

いいえ：メニュー　はい：▶/❚❚

1. **「決定」ボタンを押す**
工場出荷時の設定に初期化されます。

工場出荷時設定

メインメニュー	第一階層	第二階層	設定値
モーションセンサー設定	エリア設定	モード	全エリア検知
	感度設定		目盛左から5本の位置
手動録画設定	解像度		720x480
	フレームレート		10fps
	画質		MQ 標準
	音声		ON
スケジュール録画設定	スケジュール設定		スケジュール OFF
			全て有効
	モーション録画設定	解像度	720x480
		フレームレート	30fps
		画質	HQ 高画質
		音声	ON
		録画秒数	30秒
		プレ録画秒数	5秒
	通常録画設定	解像度	360x240
		フレームレート	1fps
		画質	LQ 長時間
		音声	ON
SDカードオプション	最大ファイルサイズ		100MB
	録画上書		許可
システム設定	言語		日本語
	明るさ		5
	コントラスト		5
	色の濃さ		5
	色合い		5
	スライドショー 間隔		3秒
	スライドショー 効果		フェード
	警告音		チャイム

トラブルシューティング

本製品の動作がおかしいときは、下記の内容をご確認ください。対応後も改善が見られない場合は、弊社まで修理をご依頼ください。　Q:質問　A:回答

電源

Q. 電源が入りません。

A. 配線が適切に接続されているか確認し、再度電源ボタンを押してください。また、接続端子(DCコネクター端子やACアダプターのコンセント)が確実に接続されているかご確認下さい。

Q. 電源が切れません。

A. 再生画面、エコモードの状態では電源を切ることがきでません。
フォトモードかライブ画面に切り替えてから電源をお切りください。

Q. 起動に時間がかかります。

A. SDカードの画像データ容量が大きくなると読み込みに時間がかかり起動時間も遅くなります。

画面の切り替え操作

Q. ライブ画面が出ません。

A. 配線が適切に接続されているか、ご確認ください(カメラ映像/音声出力と映像/音声入力)。端子は一度抜き取り、再び差し込むことで改善する場合があります。AV出力端子にプラグがさされている場合(外部出力中)は画面に表示はされません。
⇒「モニターに接続する」P12参照

Q. メニュー画面に切り替わりません。

A. 手動録画中はメニュー画面は表示できません。録画を停止してから操作してください。
また、エコモードやファイル再生画面が表示されている場合はライブ画面に切り替えてから操作してください。

Q. フォトモードにできません。

A. メニュー画面、エコモード、ファイル再生画面が表示されているとフォトモードを表示できません。ライブ画面に戻ってからフォトモードに切り替えてください。

Q. エコモードにできません。

A. メニュー画面、フォトモード、ファイル再生画面が表示されているとエコモードを表示できません。ライブ画面に戻ってからエコモードに切り替えてください。

Q. フォトフレームが再生しません。

A. 再生可能な画像形式はJPEG形式のみです。画像データがJPEG形式(拡張子.jpg)かどうかをお確かめください。

Q. 画面が動かなくなり操作ができません。

A. 電源を長押しし、電源LEDが完全に消灯してから、再度電源を入れ直してください。

録画設定

Q. 録画ができません。

A. AV(映像/音声)入力端子に映像/音声ケーブルの配線が適切に接続されているか、ご確認ください。

A. 上書き禁止になっていないかご確認ください。

Q. 手動録画ができません。

A. フォトモード、エコモード、メニュー画面が表示されていると手動録画ができません。
ライブ画面に戻ってから録画してください。

A. 上書き禁止になっていないかご確認ください。

Q. スケジュール録画をしたのに録画されていません。

A. 日時が正しく設定されているか確認してください。
長時間プラグを抜いた時や停電の時は日時が初期値に戻ることがあります。日時を再設定してください。

Q. モーション録画がうまく作動しません。

A. 「スケジュール録画」の設定が「ON」になっているか確認します。「OFF」になってる場合は、「ON」にしてください。「メインメニュー」→「スケジュール録画設定」→「スケジュール設定」を選択します。また、モーション録画を行いたい時間帯のアイコンがすべて有効もしくはモーション録画になっていることをご確認ください。
⇒「スケジュール録画設定」P33参照

A. モーションセンサーの感度設定を確認します。モーション録画が頻繁に開始する場合は設定感度が高いことが考えられます。モーション録画が作動しない場合は設定感度が低いことが考えられます。目的の検知レベルをお確かめの上、再度設定してください。「メインメニュー」→「モーションセンサー設定」を選択し「感度設定」を選択します。
⇒「感度設定」P26参照

Q. 録画されたファイル映像が暗い/明るい

A. システム設定の「明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合い」は画面表示だけでなく記録されるファイルにも影響します。

Q. 録画ファイルを再生すると録画が停止する。

A. 本機では同時に録画･再生できません。再生メニューに入ったときも自動的に録画を停止します。重要な録画中は不要な操作をしないことをお勧めします。

トラブルシューティング（つづき）

SDカードへの画像の保存、削除

Q.録画の上書きができません。

A.録画の上書きを「許可」してください。「メインメニュー」→「SDカードオプション」→「録画上書き」→「許可」⇒「SDカードオプション」P36参照

Q.SDカードに正常に記録されていない映像があります。

A.録画中にSDカードを抜いたり電源が切れたりすると保存されたデータが破損・認識しなくなる恐れがありますのでご注意ください。

Q.本体でSDカードの写真を一枚ずつ消せません。

A.SDカードの写真はフォーマット(⇒「SDカードオプション」P36参照)で全消去することは出来ますが、個別に削除することは出来ません。個別削除する場合は、パソコン上で消去してください。

Q.「SDカードが読み込めません」と表示されます。

A. SDカードの書き込みロックのスライドスイッチがLOCK側になっていないかご確認ください。

パソコンでの操作

Q.パソコンで、データが確認できません。

A.旧タイプのカードリーダーでは、2GB以上のSDカードを認識できない場合があります。2GB以上のSDHCカードを使用する場合は、お手持ちのカードリーダーの仕様をご確認ください。SDHC対応のカードリーダーをご使用ください。

Q.パソコンで、ファイルが再生できません。

A.AVI形式ファイルは、一般的な再生ソフト「メディアプレーヤー」再生できますが、古いバージョンでは再生できない場合があります。その場合、最新版をダウンロードし、パソコンにインストールして下さい。
※メディアプレーヤー11以降を推奨。

リモコン

Q.リモコンが反応しません。

A.電池が入っているか確認してください。

A.保護シートが入っていたら引き抜いてください。

A.電池が動作しない場合は交換してください。

A.リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

A.受光部の近くには物を置かないでください。

メモ

カメラ映像は様々な要因によって変化します。

・蛍光灯によるフリッカー
・ゆっくり明るくなる日の出
・ゆっくり暗くなる日の入り
・雲の移動など

それぞれの設置環境で最適な検知レベルをお確かめの上、設定してください。また、検知エリアを狭くすることで不要な録画を少なくすることができます。

その他

Q.警告音、ライブ音声がでません。

A.エコモード中は警告音、ライブ音声はでません。ライブ画面かフォトモードに切り替えてください。

A.消音になっていないか確認してください。
警告音:「メインメニュー」→「システム設定」→「警告音」
ライブ音:ライブ画面で音量を調整してください。

Q.表示がおかしい。誤動作がおきる。

A.表示・操作で誤動作が起きた場合は、一度電源を切って下さい。再び電源を入れますと誤動作が解消される場合があります。

Q.画面が見えにくい。

A.キズ防止用の保護シートが貼ってあったら、はがしてください。
⇒「機器の準備」P11参照

Q.表示切替が遅く感じる。

A.SDカードの記録データが増えると、各項目の表示切替が遅くなる場合があります。

特長

● 本機は、H.264映像コーデックおよびG711/64kbpsオーディオコーデックを搭載しています。映像、音声ともに1チャンネルの録画録音再生をすることができます。

● 映像、音声は、AVIファイル形式でSDカードに直接記録されます。簡単にお手持ちのパソコンへデータをコピーすることができ、一般的なメディアプレーヤーで再生することができます。

● 4GBのSDカードで約45時間記録できます。(工場出荷時設定:手動録画 解像度 720×480／フレームレート 10FPS／画質設定 MQ標準画質 ただし記録する画像内容によって記録時間は大幅に変動します。事前に試し撮りをして、記録時間の確認をお勧めします。)

● 本機のスケジュール録画機能は「通常録画」で全時間帯を録画しながら、検知があった場合は「モーション録画」に切り替える優れた録画機能をもっています。初期設定では「スケジュール設定」をONにするだけで普段は低画質低フレームで録画しながら、検知した場合には高画質高フレームで録画する、すぐにお使いいただける設定になっています。
⇒「出荷時設定」P49参照

● モーション録画では、検知エリアと検知感度レベルの設定ができます。

● モーション録画では、モーション検知時より前の映像を設定した秒数記録する「プレ録画」が設定できます。
⇒「モーション録画設定」P34参照

● モーション録画では、検知時に「警告音」を鳴らすことができます。「チャイム・ベル・鳥のさえずり」から選択できます。警告音を鳴らさない設定も可能です。
⇒「システム設定」P47参照

● エコモード時は消費電力を約60%低減します(消費電力最大時と比較)。

注意事項

● カメラの機種や撮影環境により検知の反応が弱くまたは強くなる場合があります。事前に試し撮りをしてください。

● 記録データの確認作業はデータ量が膨大になるため、パソコンでのご確認がおすすめです。

● 録画中(LED点灯)は、電源スイッチを絶対に切らないでください。

仕様

型名		DVF-7
録画機能	映像圧縮方式	H.264
	音声圧縮方式	G.711/64kbps
	録画ファイル形式	AVI
	録画解像度	720×480/360×240
	フレームレート	1、2、4、10、15、20、30にて可変
	録画画質設定	3段階　(HQ高画質/MQ標準/LQ長時間)
	録画モード	手動録画、スケジュール録画(モーション録画、通常録画)
	モーションセンサー設定	エリア、感度調整可能
	録画メディア	SD/SDHCカード(1GB～32GBまで)
	再生機能	再生/早送り/早戻し/一時停止/コマ送り/秒戻し
写真表示機能	対応画像形式	JPEG(プログレッシブJPEG除く)　※動画は表示できません
	対応可能画像サイズ	6000x5000以下、かつ7MB以下の画像
	スライドショー機能	ノーマル、ワイプ、フェード
	切替時間設定	3秒、7秒、15秒
	画像再生機能	送り/戻り/スライドショー/スライドショー停止
	再生可能な写真枚数	90枚まで　※90枚で警告が出ます
表示部	液晶	7インチTFTワイド液晶(16:9)
	解像度	800×480 pixel
	コントラスト比	500:1
	輝度	350cd/㎡
外部接続	映像/音声入力	RCA×各1
	映像/音声出力	RCA×各1、内蔵スピーカー
	メモリー	SD/SDHCカードスロット×1
リモコン		有り (ボタン電池 CR2025)
電源		ACアダプターで供給 DC5V
消費電力		最大3.9W　(エコモード時は1.3W)
動作環境		温度5～40℃　　湿度30～80%(結露なきこと)
外形寸法		約204×143×23(スタンド含む場合は119)mm
質量		約360g
同梱品		レコーダー本体、スタンド、リモコン、SDHCカード(4GB)、 映像/音声ケーブル(入力用)1.5m、 映像/音声ケーブル(出力用)1.5m、 ACアダプター、取扱説明書(保証書含む)

保　証　書

お客様へ

この度は弊社製品をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。本保証書は右記の条件に従い、下記製品に対する保証サービスをご提供申し上げるものです。記入事項に記載のない保証書は無効となりますので、記入の有無をご確認の上、記入漏れの事項がありましたら、直ちにお買い上げの販売店にお申し付けください。本保証書は、再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

販売店様へ

本保証書は、所定事項を記入して効力を発揮するものです。必ず、お買上日・貴販売店名・ご住所・電話番号をご記入、ご捺印していただくか、販売証明書などをお客様にお渡しください。

保証規定

正常なご使用状態のもとで保証期間内に万が一故障した場合は、保証規定にしたがって無料にて故障の修理をさせていただきます。保証期間はお買い求めになった日より1年間です。次のような場合には、保証期間内でも有償修理となります。

a. 本製品の説明書に記載された使用方法および注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障・損傷 の場合。
b. お買い上げ後の輸送や振動、落下、衝撃などお取扱いが不適当なため生じた故障・損傷の場合。
c. 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧や指定外の電源使用などにより生じた故障・損傷の場合。
d. 接続している他の機器、その他外部要因に起因して生じた故障・損傷の場合。
e. 不適当な改造、調整、部品交換などをされたことにより生じた故障・損傷の場合。
f. 本保証書のご提示がない場合。
g. 本保証書の所定事項に未記入、あるいは字句を書き換えられている場合。
h. 本保証書に販売店印または販売証明書などがない場合。

- 本製品は日本国内での使用を前提とするもので海外ではご使用になれません。
- 本製品は緊急事態等を未然に防ぐ装置ではありません。
- 本製品の故障、通信の不具合などによって発生した損害について当社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

本製品の故障・損傷、またはその使用中に生じた直接または間接の損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
弊社では出張修理は対応しておりません。
保証期間経過後の修理、アフターサービスなどについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはサービス実施店へお問合せください。

販売証明書貼り付け欄

1年間保証　お買い求めの販売店でご購入の年月日と販売店名を記入いただくか、販売証明書などをもらってください。

お客様
ご住所
お名前　　　電話番号　（　　　）

販売店
住所　　　お買い上げ年月日　　年　　月　　日
店名　　　電話番号　（　　　）

印

機種名　DVF-7

コロナ電業株式会社 http://www.corona-dengyo.co.jp
〒115-0045 東京都北区赤羽1-64-11　TEL. 03(3903)9711　FAX. 03(3903)9710

1209-00065A0179